

# 1. 図書館のあゆみ

明治44 (1911) 年 7 月	・ 東郷慎十郎氏等の寄付を基に、町立図書館として、鎌倉小学校（現在の第一小学校）内に設立
大正12 (1923) 年 9 月	・ 関東大震災で倒壊のため閉館、のちに第一小学校の教室で再開
昭和11 (1936) 年 5 月	・ 間島弟彦夫人愛子氏からの建設費寄付により、大町蔵屋敷の御用邸跡（現在の御成小学校）に新館設立（10月開館）
19 (1944) 年 3 月	・ 軍に接收され閉館
21 (1946) 年 6 月	・ 図書館再開
25 (1950) 年 7 月	・ 図書館法施行にあたり、「鎌倉図書館」を「鎌倉市図書館」に改称
37 (1962) 年 6 月	・ 団体貸出開始
45 (1970) 年 6 月	・ 腰越貸出所開設
46 (1971) 年10月	・ 資料の複写サービス開始
12月	・ 大船子ども文庫開始
48 (1973) 年 4 月	・ 深沢子ども文庫開始
49 (1974) 年10月	・ 中央図書館開館（10月1日）
12月	・ 中央図書館に視聴覚ライブラリー開設、16ミリ映写機類の貸出開始
50 (1975) 年11月	・ 中央図書館で「おはなし会」開始、52年から全館で定期的を実施
52 (1977) 年10月	・ 視覚障害者への録音図書郵送貸出サービス開始
55 (1980) 年 5 月	・ 深沢図書館開館（深沢行政センター内）、深沢子ども文庫廃止
57 (1982) 年10月	・ 大船図書館開館（大船行政センター内）、大船貸出所、大船子ども文庫廃止
61 (1986) 年 8 月	・ 中央図書館でCD貸出開始
62 (1987) 年 4 月	・ 玉縄図書館開館（玉縄行政センター内）
平成 2 (1990) 年 4 月	・ 中央図書館でビデオ貸出開始
	・ 中央図書館に外国語図書コーナー開設
3 (1991) 年 4 月	・ 祝日開館試行
6月	・ 神奈川県図書館情報ネットワーク（K L - N E T）加入
4 (1992) 年 4 月	・ 祝日開館本実施
7 (1995) 年 7 月	・ 市内全館コンピュータシステムオンライン導入
8 (1996) 年10月	・ 夜間開館試行（平日の木・金曜日、17：00～19：00）
9 (1997) 年 8 月	・ 大船図書館にAV（視聴覚）資料配置
11月	・ 第1回「リサイクル図書展」開催（平成11年度から「図書リサイクル」に名称変更、平成18年度まで毎年1回開催）
10 (1998) 年 2 月	・ 投書箱「利用者の声」設置
10月	・ 藤沢市図書館との広域利用実施
	・ 市のホームページに図書館のページを開設
11 (1999) 年 3 月	・ 腰越図書館開館（腰越行政センター内）、AV資料配置
	・ 夜間開館開始（平日の木・金曜日、17：00～19：00）
4月	・ 「おひざにだっこのおはなしかい」各館で開催、以後定期的を実施
7月	・ 図書館所蔵資料のインターネット検索サービス開始
12 (2000) 年 3 月	・ 「鎌倉市図書館サービス計画」策定
8月	・ 玉縄図書館にAV資料配置

- 13 (2001) 年 4月 ・ 定期休館日を月 1 回 (毎月最終月曜のみ) とする : 開館日の拡大
- 7月 ・ 「としょかんいんになってみよう ! (一日図書館員)」開催始まる
- 8月 ・ 国立国会図書館総合目録ネットワークへの参加承認される
- ・ 深沢図書館に A V 資料配置
- 9月 ・ 「鎌倉市図書館資料管理方針」が図書館協議会の討議を経て策定
- 11月 ・ 第一期「おはなしボランティア養成講座」開催
- 12月 ・ 市内各図書館に C D - R O M 検索用パソコン導入
- 14 (2002) 年 5月 ・ J R 鎌倉駅構内に返却ポストを設置
- 10月 ・ 中央図書館に検索用インターネットコーナーを設置
- 15 (2003) 年 4月 ・ 各地域館に外国図書配置
- 7月 ・ 「図書館子ども会議」(子ども利用者懇談会)開催
- 10月 ・ 鎌倉女子大学との協力開始
- 16 (2004) 年 3月 ・ コンピュータシステム更新、携帯電話からの蔵書検索サービス開始、  
館内の検索用端末 ( O P A C ) からの予約受付開始等
- 4月 ・ インターネットでの予約受付開始
- ・ マンガの貸出開始
- 10月 ・ DVD 貸出開始
- ・ 「鎌倉市図書館資料管理基準」が図書館協議会の討議へ経て策定
- 17 (2005) 年 4月 ・ 子ども向け行事でのボランティアとの協働開始
- 7月 ・ ブックスタート開始
- 12月 ・ 「図書宅配便」「障害のある方への無料郵送サービス」開始
- 18 (2006) 年 10月 ・ 地域図書館に検索用インターネットコーナーを設置  
(腰越図書館のみ 11 月設置)
- 19 (2007) 年 1月 ・ 中央図書館に「からだといのちの図書コーナー」を設置
- 4月 ・ J R 大船駅に返却ポスト設置
- 10月 ・ オンラインデータベースの導入
- ・ デイジーの郵送貸出開始
- 20 (2008) 年 2月 ・ 中央図書館に「よむべえ」導入
- ・ 「鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定
- 3月 ・ 中央図書館に多目的エレベーターの設置
- 4月 ・ 図書リサイクルコーナーを全館に設置
- 9月 ・ 図書館協議会市民委員の公募開始
- 10月 ・ 市民協働事業としてファンタスティック☆ライブラリー 2008 を開催
- 21 (2009) 年 9月 ・ 図書の貸出点数を 10 冊に拡大
- 10月 ・ コンピュータシステム更新
- 11月 ・ 「あかちゃんと楽しむおはなしかい」初開催、以後各館で年 2 回開催
- 22 (2010) 年 11月 ・ デイジー再生機器「プレクストーク」貸出サービス開始
- 12月 ・ 高校生によるポップ大賞を選ぶイベントを開催
- ・ 電子図書館の実証実験実施 (23 年 3 月まで)
- 23 (2011) 年 3月 ・ 東日本大震災 : 協働事業 2 件中止、夜間開館の一時中止
- 7月 ・ 鎌倉市図書館開館 100 周年記念式典開催
- 9月 ・ ツイッター開始
- 10月 ・ 図書館振興基金条例交付、基金の募金活動開始
- 24 (2012) 年 3月 ・ 百年史資料、所蔵貴重資料整理事業

4月	・寄贈された政党新聞の閲覧開始
10月	・「ぬいぐるみのおとまり会」初開催
25 (2013) 年 2月	・「第2次鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定
5月	・暮らしのお役立ち講座@としょかん開催
6月	・本の修理講座開始（中央図書館）
10月	・大船図書館、耐震工事实施による部分開館（翌年2月まで）
26 (2014) 年 1月	・図書館福袋の貸出し
3月	・国際ソロプチミスト鎌倉から読書活動推進のための軽自動車の寄付を受ける

#### 平成26年度のあゆみ

- 4月
  - ・「第2次鎌倉市図書館サービス計画」策定
  - ・子ども読書週間展示（4月23日～5月12日）
  - ・本の修理講座 ＊この後、年度内10回開催
  - ・寄贈自動車に長野ヒデ子さんのイラストご協力を記念し、長野ヒデ子さん紙芝居実演（中央図書館）
  - ・暮らしのお役立ち講座@としょかん（6月まで6回開催）
- 5月
  - ・布絵本であそぼう
- 6月
  - ・「ブックカーニバルin鎌倉」へ写真展示・協力・出店
  - ・「本の海サポーターズ交流会」（深沢学習センター）
  - ・展示「泣いている本たち」（中央図書館、一部展示市内各館）
- 7月
  - ・国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスを提供
  - ・平成26年度第1回図書館協議会開催
  - ・鎌倉駅地下道ギャラリー展示「昭和の夏 鎌倉カーニバル」
  - ・市内小中学校教職員対象の図書館実務研修を開催（全3日間）
  - ・「としょかんいんになってみよう（一日図書館員）」開催（全館8月8日まで開催）
- 8月
  - ・「ぬいぐるみのおとまり会」開催（中央図書館）
- 9月
  - ・内田麟太郎講演会（玉縄学習センター分室）
- 10月
  - ・おはなしボランティア養成講座開催（玉縄学習センター）
  - ・「中学生によるおはなし会」開催（大船図書館）
  - ・「鎌倉高校図書館員」による図書館展示（腰越図書館）
  - ・平成26年度第2回図書館協議会開催
  - ・ファンタスティック☆ライブラリー103を開催（10月25～11月5日）
- 11月
  - ・「鎌倉市図書館おたから展示ギャラリートーク」（中央図書館）
  - ・あなたの選ぶイチオシキャラを募集、リーフレット作成。
- 12月
  - ・関東大震災空撮写真展
  - ・平成26年度第3回図書館協議会開催
  - ・「わらべうた講習会」を児童図書館研究会神奈川支部と共同開催
  - ・鎌倉国宝館連携講座「鎌倉ゆかりの天神さま」

#### 平成27年

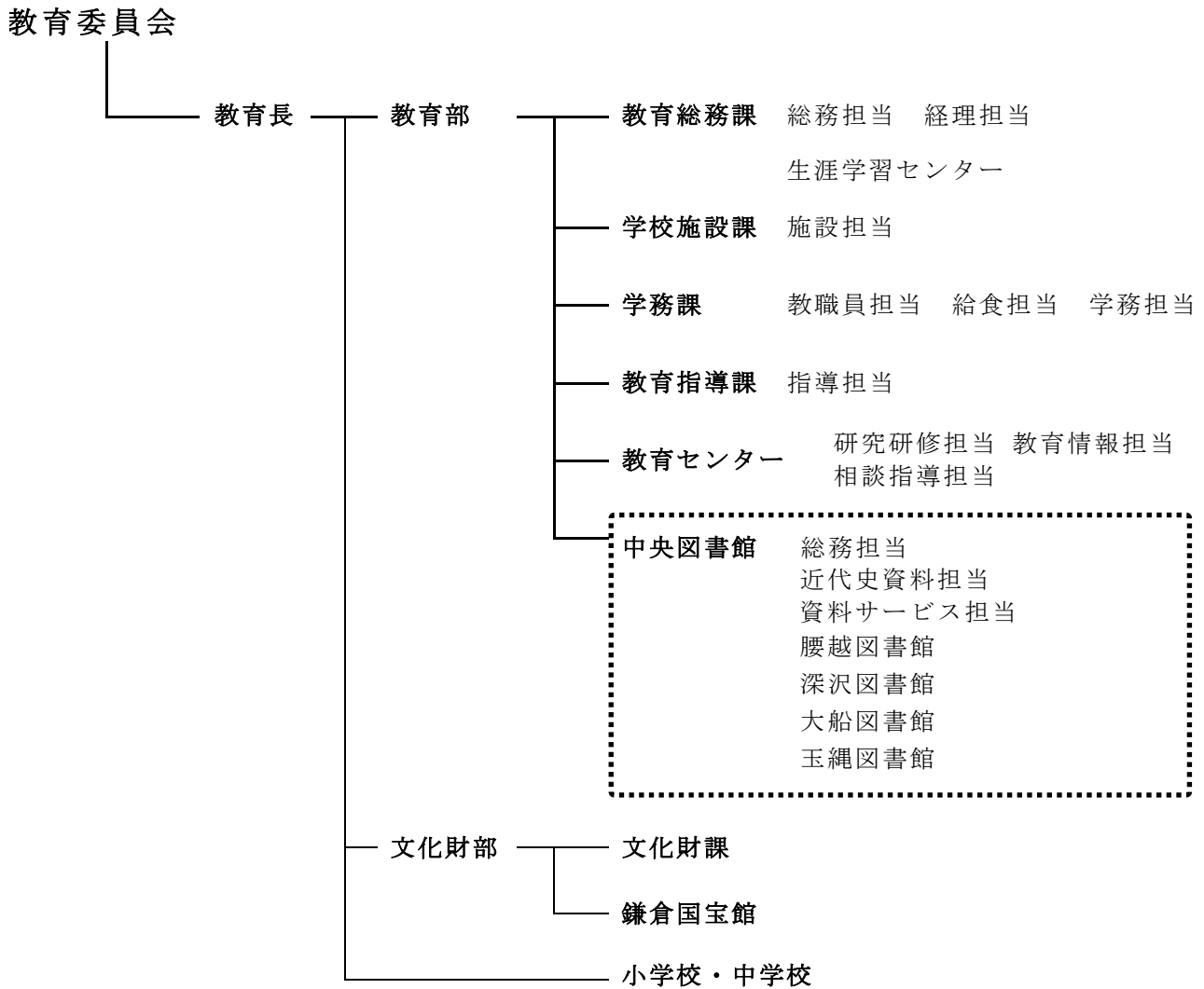
- 1月
  - ・冬休み映画会
- 2月
  - ・おはなしボランティアステップアップ講座開催（深沢学習センター）
- 3月
  - ・図書館新システム稼動（WEBリクエスト、デジタル化資料の充実等）
  - ・鎌倉駅地下道ギャラリー展示「鎌倉の谷戸を記録する」
  - ・鎌倉市川喜多映画記念館連携講座「鎌倉・映画・文学」
  - ・サイエンスカフェ「環境？遺伝子？生活習慣？関節リウマチと遺伝子の関係」
  - ・マイクロバスで行く「県立公文書館」見学会開催
  - ・団体貸出を廃止
  - ・国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への多くのデータ登録に対し、国立国会図書館長より御礼状授与

## 2. 機 構

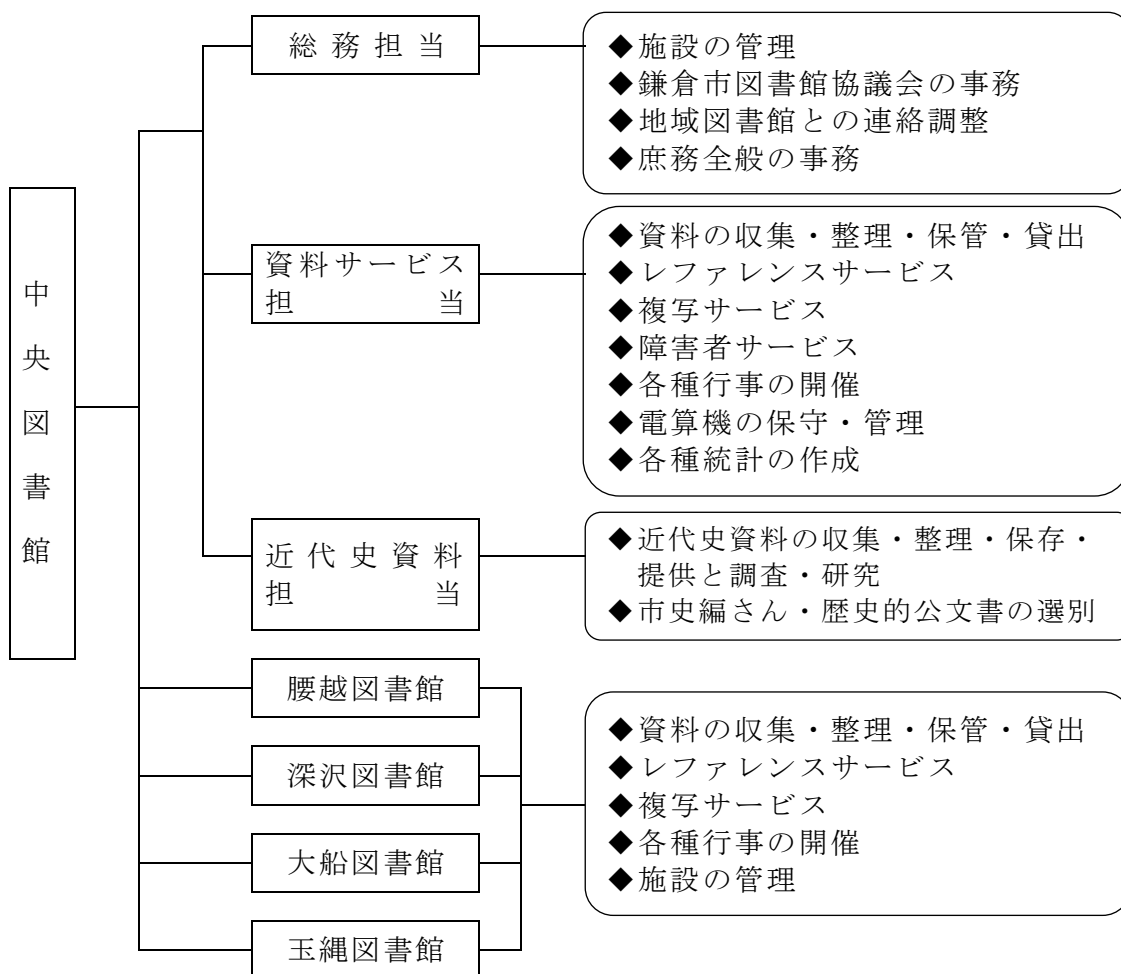
### (1) 教育委員会機構図

図書館は、市長とは独立した執行機関である教育委員会教育部に属する機関です。

(平成27年4月1日現在)



## (2) 図書館の組織・主な事務内容



## (3) 図書館職員

(平成27年4月1日現在)

	職 員	嘱 託 員
中央図書館長	1	
総務担当	1	2
資料サービス担当	8 (2) [再2]	13
近代史資料担当	1 (資料サービス担当と兼務)	3
腰越図書館	2 (1)	6
深沢図書館	3	6
大船図書館	3	6
玉縄図書館	3	6
計	22人 (3人)	42人

\* 資料サービス担当中、(2)は育児休業中の職員が2人、〔再2〕は再任用職員が2人(職員1人分の勤務)。腰越の(1)は育児休業中の職員が1人。近代史資料担当は資料サービス担当のうちの1人と兼務。職員総数のうち司書有資格者19人、図書館業務嘱託員総数のうち司書または司書補有資格者は30人

## (4) 図書館内各種委員会

鎌倉市図書館では、各種サービスや運営方法を各種委員会で検討・実施しています。

### ① 館長会議

図書館運営に関わる決定機関です。各種会議の報告や各館の情報交換も行っています。市内5館の館長及び係長以上の職員で構成されています。

### ② 児童奉仕委員会

0歳からの子どもと、子どもを取り巻く大人へのサービス全般を担当しています。

- ・ おはなし会、おひぎにだっこのおはなしかい、あかちゃんと楽しむおはなし会の定例行事を開催しています。
- ・ 小学生向けの「なつやすみにおすすめのほん」のリストを作成しています。
- ・ 年齢別におすすめする本のリストを作成、発行、配布しています。
- ・ 学校との連携を進めています。おはなし会、ブックトークなどの訪問サービスや教職員・PTAが主催する講座、研修会に講師を派遣する等、講座・講演会を実施しています。
- ・ 市の関連課と連携してブックスタート事業を実施しています。
- ・ 子どもへのサービスをより充実させるため、ボランティアを養成しています。

### ③ 資料管理委員会

図書・雑誌・新聞・AV等の資料の管理を行う委員会です。

- ・ 「鎌倉市図書館資料管理方針」（平成13年9月）および「鎌倉市図書館資料管理基準」（平成16年10月・22年4月一部改定）に基づき、資料の収集・保存・除籍等の基準の策定、見直し、管理を行います。
- ・ 雑誌・新聞の新規購入・寄贈受入・中止について検討をします。

### ④ 運用委員会

よりよい図書館サービスのため、サービス提供の方法等を検討する委員会です。

- ・ 貸出・登録・予約等のサービスやカウンター業務がスムーズに行われるように運用方法を検討します。
- ・ 「図書館の自由」に関わる問題が起きたとき、対応を検討します。
- ・ 個人情報保護の側面から図書館業務を検討します。

### ⑤ PR委員会

より図書館に親んでもらうため、広報活動を行う委員会です。

- ・ 館報「かまくら図書館だより」や「テーマ別本のリスト」を編集・発行しています。
- ・ 図書館利用を促進するための配布物の作成、行事の企画・実施をしています。
- ・ ホームページ、ツイッターの企画、更新をしています。

### ⑥ YA委員会

ヤングアダルト（10代）層に図書館や本に親んでもらうための企画を立案・実施する委員会です。コーナーの整備やイベント企画をしています。

### 3. 図書館協議会

図書館協議会は、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービスについて館長に意見を述べる機関です。

図書館法の定めにより設置され、社会教育関係者、教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、市民公募による者5名で構成されています。

開 会 日 時	主 な 審 議 ・ 報 告 事 項 等
第 1 回 7 月 1 日 (火) 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館サービス計画の評価と点検の方向について (検討)</li> <li>・ 平成26年度予算について (報告)</li> <li>・ 中央図書館耐震診断について (報告)</li> <li>・ 図書館システムの更新に状況について (報告)</li> </ul>
第 2 回 10月15日(水) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館振興基金による購入について (審議)</li> <li>・ 市政 e モニターアンケートの集計結果について (報告)</li> </ul>
第 3 回 12月18日(木) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「鎌倉市の図書館 (平成25年度事業報告)」の発行について (報告)</li> <li>・ ファンタスティック☆ライブラリーの実施状況 (報告)</li> <li>・ 図書館システムについて (報告)</li> </ul>
第 4 回 平成27年 3 月 17 日 (火) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鎌倉市図書館の事業における平成 26 年度の重点項目とその成果及び平成 27 年度の重点項目について (検討)</li> <li>・ 鎌倉市図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」の一部改正について (報告)</li> <li>・ 公共施設再編計画について (報告)</li> </ul>

(敬称略)

任 期	氏 名	職 業 又 は 役 職	選 出 区 分
平成24年12月15日 ～ 平成26年12月14日	田中 康正	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	杉本 晴子	作家	社会教育関係者
	大嶋 一成	鎌倉市立第一小学校校長	学校教育関係者
	杉山 恵子	鎌倉市図書館おはなしボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	和田 安弘	元川崎市立図書館職員	市民公募

任 期	氏 名	職 業 又 は 役 職	選 出 区 分
平成26年12月15日 ～ 平成28年12月14日	田中 康正	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	杉本 晴子	作家	社会教育関係者
	大嶋 一成	鎌倉市立第一小学校校長	学校教育関係者
	杉山 恵子	鎌倉市図書館おはなしボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	小林 美香	市民	市民公募

## 4. 鎌倉市図書館一覧

	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館
所在地	〒248-0012 御成町20-35	〒248-0033 腰越864 (腰越行政センター内)	〒248-0022 常盤111-3 (深沢行政センター内)
☎ F A X	☎ 25-2611 FAX 24-6544	☎ 33-0711 FAX 設置なし	☎ 48-0022 FAX 43-5676

開館年月	旧：1911(明治44)年 7月 新：1974(昭和49)年 10月	1999(平成11)年3月	1980(昭和55)年5月
------	---	---------------	---------------

対象地域人口 (平成27年4月1日 現在)	46,558人	24,679人	33,678人
-----------------------------	---------	---------	---------

面 積	一般コーナー	575㎡	240㎡	380㎡
	児童コーナー	143	130	126
	ブラウジング コーナー	56	35	42
	A Vコーナー	58	30	—
	書 庫	314	92	168
延床面積(その他含)		2,576㎡	684㎡	820㎡

閲 覧 席	一 般	104	16	12
	児 童	18	7	6
	そ の 他	11	29	24
	計	133席	52席	42席

※その他…ソファ、長イスなど



大船図書館	玉縄図書館	計
〒247-0056 大船2-1-26 (大船行政センター内)	〒247-0072 岡本2-16-3 (玉縄行政センター内)	
☎ 45-7710 FAX 設置なし	☎ 44-2218 FAX 設置なし	

1982(昭和57)年10月	1987(昭和62)年4月
----------------	---------------

43,056人	25,037人	173,008人
---------	---------	----------

190 m <sup>2</sup>	224 m <sup>2</sup>	1,609 m <sup>2</sup>
135	123	657
40	72	245
8	—	96
—	—	574
462 m <sup>2</sup>	512 m <sup>2</sup>	5,054 m <sup>2</sup>

6	17	155
12	12	55
20	21	105
38席	50席	315席

## 5. 平成26年度図書館費

### (1) 予算・決算（含む27年度予算）

単位：千円

		平成26年度 (当初予算)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	
一 般 会 計		60,721,500	57,641,451	61,364,000	
教 育 費		6,108,274	4,974,098	9,067,364	
社 会 教 育 費		1,899,220	1,442,467	1,874,849	
図 書 館 費		126,393	123,235	123,245	
内 訳	報 酬	48,127	48,127	48,127	
	賃 金	298	295	298	
	報 償 費	10	0	10	
	旅 費	3,237	2,161	3,237	
	需 用 費	38,678	38,153	36,802	
	内 訳	消 耗 品 費	29,971	29,967	28,487
		燃 料 費	997	1,255	1,081
		印 刷 製 本 費	475	474	230
		光 熱 水 費	5,892	5,446	5,711
		維 持 修 繕 料	1,220	892	1,220
		備 品 修 繕 料	100	100	0
		車 輛 修 繕 料	23	19	73
	役 務 費	2,607	2,555	2,546	
	内 訳	電 信 料	988	952	859
		運 搬 料	78	71	78
		手 数 料	1,477	1,477	1,540
		保 険 料	64	55	69
	委 託 料	12,356	11,713	12,398	
	使用料及び賃借料	20,493	19,804	18,342	
	備 品 購 入 費	0	0	898	
負担金補助及び交付金	86	86	86		
積立金(図書館振興基金)	501	341	501		

## 予算の主な内訳

- 一般会計：鎌倉市全体の予算
  - 報酬：図書館協議会委員・各館の図書館業務嘱託員への報酬など
  - 報償費：図書館行政協力者への謝礼など
  - 需用費：予算一覧表内訳のとおり
  - 消耗品費：この中に図書館資料（本・雑誌・新聞・A V資料）や、文具類の購入費が含まれます。
  - 印刷製本費：写真資料の複写・バーコードラベルの印刷費など
  - 役務費：予算一覧表内訳のとおり
  - 手数料：図書館建物の維持管理のための経費。各種機器の保守点検など
  - 使用料及び賃借料：主に図書館の全コンピュータ・システム稼働の費用
  - 負担金補助及び交付金：日本図書館協会や神奈川県図書館協会の分担金など
  - 積立金：鎌倉市図書館振興基金への積立金など（寄附金額）
- ※図書館費には、一般職員の給料、職員手当などは含まれていません。

## (2) 資料購入費

図書館の予算のうち、資料購入費は次のとおりです。

図書館資料には、図書のほか雑誌、新聞の購入費等を含みます。

単位：円

		平成26年度		平成27年度
		当初予算	決算	当初予算
中央図書館	図書資料費	13,308,660	12,060,561	18,924,071
	A V資料費	500,000	453,732	100,000
	計	13,808,660	12,514,293	19,024,071
腰越図書館	図書資料費	3,221,500	3,110,777	1,373,982
	A V資料費	—	—	—
	計	3,221,500	3,110,777	1,373,982
深沢図書館	図書資料費	3,447,900	3,495,930	1,680,262
	(うち学校貸出)	(300,000)	(255,746)	(350,000)
	A V資料費	—	—	—
	計	3,447,900	3,495,930	1,680,262
大船図書館	図書資料費	3,746,000	4,256,644	1,540,881
	A V資料費	—	—	—
	計	3,746,000	4,256,644	1,540,881
玉縄図書館	図書資料費	3,118,500	3,296,832	1,359,984
	A V資料費	—	—	—
	計	3,118,500	3,296,832	1,359,984
全館計	図書資料費	26,842,560	26,220,744	24,879,180
	A V資料費	500,000	453,732	100,000
	計	27,342,560	26,674,476	24,979,180

※平成27年度から、中央図書館での集中執行としました。

## 6. 平成26年度の主な事業実施報告

### ■ 新規事業とその成果

#### (1) 地域との連携

- ・ 図書館が人と情報の交流点となるよう、地域の専門家集団や団体との協力で、講座や展示等を行い、より市民生活に役に立つ図書館を目指し、アピールを行う。
  - ・ 地域団体や利用者同士の交流や仲間作りの機会を提供し、市民活動の支援と地域発展の手助けを行う。
- 神奈川県行政書士会、神奈川県税理士会、鎌倉市医師会の協力で暮らしのお役立ち講座「終活」開催。
  - 三浦半島活断層調査会、NAMAZU の会の協力で関東大震災空撮写真展開催。
  - 鎌倉国宝館との協力で、学芸員による展示会解説と関連図書展示、図録販売を図書館で、また国宝館では図書館所蔵資料の紹介、図書館の復刻絵葉書鎌倉玉手箱の販売を行った。
  - 鎌倉市川喜多映画記念館との共同企画として、図書館での講演会「鎌倉・映画・文学」及び、川喜多記念館への展示作品の提供と出版物の配布を行った。
  - 理研よこはまの協力で、当館では初めてのサイエンスカフェの開催を3月に実施した。

#### (2) コンピュータシステム更新

平成27年3月から、新しいコンピュータシステムを導入しました。

ホームページのデザインを一新し、古写真などデジタル資料の閲覧や、図書館が所蔵していない図書のリクエスト、レファレンス受付をホームページからできるようにし、図書館に来館しなくても利用できるサービスを増やしました。館内には、セルフ貸出機を設置し、窓口を介さずに利用者が自分で貸出手続きができるようになりました。

また、蔵書検索がスピーディになったことで、資料を迅速に探せるようになりました。

今後も定期的にバージョンアップを行い、安全で使いやすいシステムを維持していきます。

#### (3) 国会図書館配信のデジタル化資料の閲覧開始

国立国会図書館がデジタル化した資料は、これまで国立国会図書館の館内での利用に限られていましたが、平成26年7月から、鎌倉市中央図書館2階でもこれらが閲覧、複写できるようになりました。

絶版など現在では入手不可能な資料や、発行年代の古い和図書、明治期以降の

出版物など、130 万点以上の貴重な資料を鎌倉にいながらにして利用できるサービスです。

今後周知が進めば、一層の利用が見込まれます。

#### (4) 中央図書館耐震診断

平成 26 年 8 月 2 日に現地調査が行われ、サンプル調査として 12 か所のコンクリートのコア抜きを行いました。結果は、Is 値 0.55 でした。この耐震診断の結果を受け、平成 27 年度は、利用者の安全確保と資料保存に有効な対策として Is 値 0.6 以上を目指し、耐震設計を行う予定です。

(\*Is 値 (Seismic Index of Structure=構造耐震指標) とは、建物の耐震性能を表す指標で、Is 値が大きければ大きいほど耐震性が高いと判断されます。Is 値 0.6 を確保することで地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低いとされています。)

### ■ 継続事業

#### (1) 市民協働による図書館振興事業

- ・ 市民・関係団体による実行委員会形式でのファンタスティック☆ライブラリー（図書館まつり）を開催
- ・ 市民との意見交換や利用者懇談会の機会を活用した図書館イメージの向上と広報
  - ファンタスティック☆ライブラリーは、10 月 25 日～11 月 5 日にわたって開催し、全 23 プログラムを開催し、一般市民のスタッフも募集しました。プログラムは、朗読会／鎌倉の近現代資料保存のシンポジウム／展示会／バリアフリーカフェ／図書館の資料を活用した市民の発表会／手づくり紙芝居関連の展示と行事／子ども読書活動推進計画の一環で多言語おはなし会、英語のおはなし会、世界のわらべうたの催しなどをおこない、多言語お話会としてスペイン語のお話会を実施しました。
  - 地元出版社に協力いただき詩人内田麟太郎氏の出版記念講演会を開催しました。

## 7. 平成 27 年度の重点事業

### 新規事業

#### (1) 図書館振興基金の活用と郷土資料の収集活用方法の整備

※ サービス計画…方針Ⅱ鎌倉ならではの図書館—1 地域資料・情報

##### ● 具体的な事業

- ・ 基金活用購入資料の展示会報告会
- ・ 基金協力者の交流会と基金 P R
- ・ デジタルアーカイブの充実
- ・ 所蔵写真の展示会図書館甲信越静大会での発表

#### (2) レファレンスサービスの充実

※ サービス計画…方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—3 資料・情報の提供—(2) 課題解決の支援

##### ● 具体的な事業

- ・ レファレンス事例を図書館 HP・利用者用 OPAC から検索可能に
- ・ メールレファレンスの受付回答開始

#### (3) 図書館利用に障害のある方に対する支援の充実

※ サービス計画…方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援—(4) 図書館利用に障害のある方に対する支援

##### ● 具体的な事業

- ・ 障害者差別解消法施行（平成 28 年 4 月）に向けた館内環境整備
- ・ マルチメディア DAISY の学校貸出
- ・ 職員の専門研修受講（ライトセンターの誘導実習ほか）
- ・ おはなし会など障がい児向きサービスの検討

#### (4) 学校支援の充実

※ サービス計画および子ども読書活動推進計画…方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援—(1) 子どもの読書環境の推進

##### ● 具体的な事業として

- ・ 従来の団体貸出の資源を生かした学校貸出の充実
- ・ 次年度に向けて、搬送態勢の検討

### 継続事業

#### (1) 地域との連携

※ サービス計画…方針Ⅱ鎌倉ならではの図書館—3 地域との連携

##### ● 具体的な事業として

- ・ スポンサー制度の P R
- ・ 図書館資源を生かした団体等との協力事業

(2) 市民協働による図書館振興事業

\* サービス計画…方針Ⅲ市民とともに創る図書館—1 市民参画と協働

● 具体的な事業として

- ・ファンタスティック☆ライブラリーによる図書館活動のPRと活性化